

おすすめ 資材

島田営農経済センターが
おすすめします!



畑の常備薬 『ダイアジノン粒剤5』

◎価格・規格

3kg **1,859円(税込)**

※10月1日以降の価格です

◎特徴

60種類以上の作物群に適用があり、幅広く使える農薬です。使用時期、使用方法のバリエーションが豊富で、栽培体系や害虫の特性に合わせて使用できます。

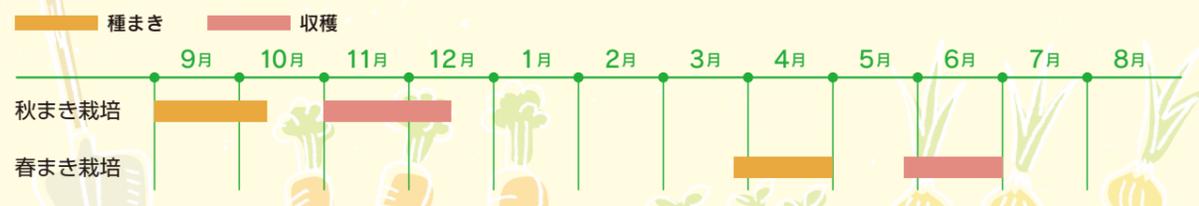
◎使用方法

これからの時期は、カブやダイコン、ニンジンなどにつくキスジノミハムシやネクリムシに効果があります。

は種時や定植時を中心に土壌混和や土壌表面散布します。作物や時期にあった使用方法、使用量を確認し、きれいな野菜を作りましょう。

詳しい使い方や使用量は、
最寄りの営農経済センターへ

栽培カレンダー



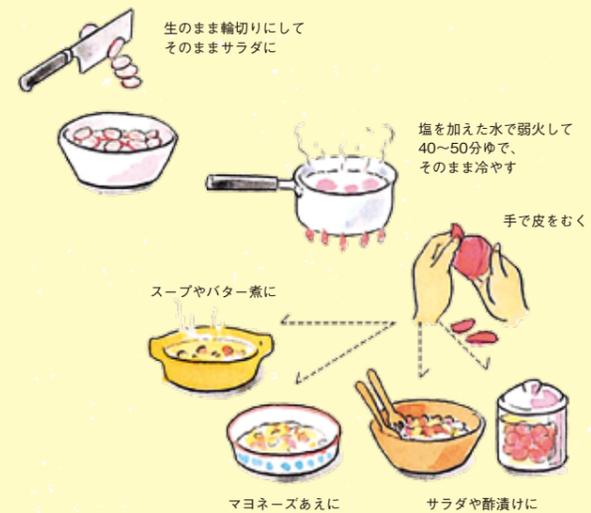
④ 収穫

根の径が5~6cmに肥大したときが収穫時期です。収穫が遅れると味を損ねるので、取り遅れないようにしましょう。



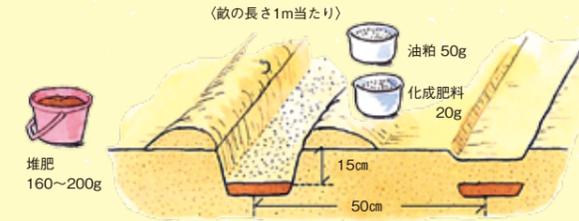
⑤ 調理

生のまま輪切りにしてサラダにしたり、塩をひとつまみ加えた水で皮付きのまま弱火で40~50分ゆで、そのまま冷やして皮をむきいろいろな料理に利用しましょう。



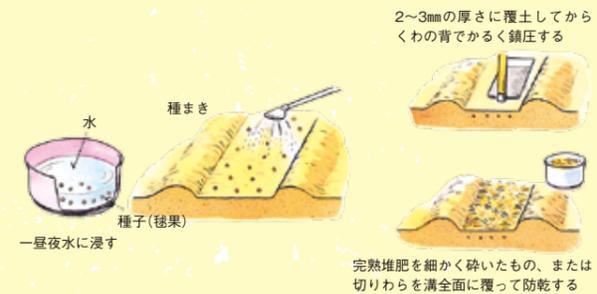
① 畑の準備

ビーツは酸性に弱いので、あらかじめ石灰をまいて耕しておきます。耕した畑に溝を掘り、元肥を施します。



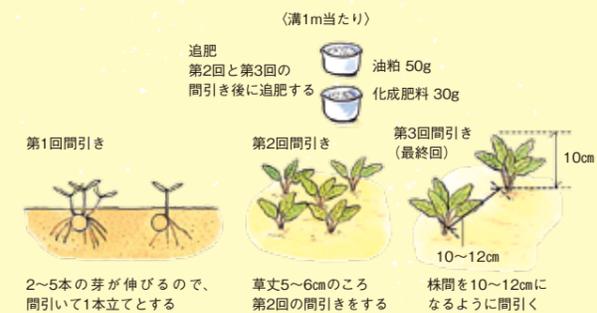
② 種の予措・種まき

種は球果で給水しにくいので水に浸してからまきましょう。まき溝が乾いていたらかん水し、種を3~4cm間隔の割合で1粒ずつまきます。



③ 間引き・追肥

1粒のような種子に見えますが、2~5本の芽が伸びてきます。余分な芽を間引き、1本立てとします。



はたけ日和

おいがわ 今月の作物



ビーツ

・植物分類 アカザ科 ・原産国 地中海沿岸

カブのように太った根は、輪切りにするとききれいな濃紅色の輪紋が出ます。ビーツは、リンやマグネシウム、鉄など栄養価が高く、ボルシチやスープなどに用いられます。収穫まで60日~80日と比較的短く、春まきと秋まきの年2回栽培できます。

暑すぎると生育が悪くなり、寒いと品質が損なわれます。冷涼な気温を好むため、春と秋を中心に栽培しましょう。



島田営農経済センター 大橋 真人